

● 事業名

岸和田市連携事業

● 岸和田サテライトの概要

和歌山大学岸和田サテライトは、2003年に締結された「和歌山大学・岸和田市地域連携推進協定」に基づき、2006年に岸和田市立浪切ホール（現：南海浪切ホール）に開設された。以来、高等教育（大学院・学部開放授業）の実施と地域研究や地域課題を踏まえた生涯学習の機会提供（わだいな浪切サロン等）を柱に地域連携事業を進めてきた。2021年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が度々発出されたため、授業等をオンライン開催に切り替える等、受講者の健康と地域社会の安全を第一に考えた連携事業の展開に努めてきた。以下、岸和田サテライトの連携事業について報告する。



岸和田サテライトのある南海浪切ホール

● 2021年度の実施内容

(1) 高等教育事業

① 大学院経済学研究科授業

2021年度前期は、「雇用と労働」「商法」「経済立地論」「行政法」の科目を開講し、計51人（院生41人、科目等履修生10人）が受講した。2021年度後期は、「租税法実務演習」「財政学」「監査論」「政策過程論」の科目を開講し、計36人（院生30人、科目等履修生6人）が受講した。

② 学部開放授業

2021年度前期は、【地域課題探求型】の「地域観光戦略論」と【文化・教養型】の「IT社会とデータサイエンス」の2科目を開講し、計36人（学部生13人、社会人23人）が受講した。また後期は、【地域課題探求型】の「学童期の子どもの育ちと現代社会」と【文化・教養型】の「災害後の生活再建とまちの復興」の2科目を開講し、計33人（学部生21人、社会人12人）が受講した。「地域観光戦略論」では、コロナ禍によりとりわけ深刻な影響を受けている「観光分野」に焦点をあて、地域におけるこれからの観光戦略について、多様な講師陣のもとオムニバス形式で行った。また岸和田市職員2人の参加により、市民・学生・行政職員による共同学習の機会を得ることができた。

(2) 生涯学習事業の提供

① 「わだいな浪切サロン」（2月・8月を除く毎月第三水曜日に実施）

回	月	テーマ	話題提供者	参加者数
125	4/21	人とロボットがタッグを組んで競い合う！？ “サイバロンでの挑戦”	システム工学部 教授 中嶋 秀朗	30
126	5/19	SDGs（持続可能な開発目標）に向けて 私たちが出来ること	教育学部教職大学院 教授 岡崎 裕	47
127	6/16	災害から、命、生活、地域を守るために ～これまでの復旧・復興から学ぶ～	災害科学・レジリエンス共創センター 特任准教授 宮定 章	65
128	7/21	国際化時代の日本語教育・日本語支援 －大学と地域の連携－	国際連携部門長 教授 長友 文子	48
129	9/15	身近な生物多様性と絶滅危惧種の保全	大阪府立大学 教授 平井 規央 氏	71

130	10/20	地域と大学生をつなぐ「ワダイ」のオープンラボ －和歌山大学協働教育センター（クリエ）の取り組み－	データ・インテリジェンス教育研究部門 講師 西村 竜一	30
131	11/17	私たちの健康と幸福を育むエリアマネジメント －With/After COVID-19 時代の新たな地域活動－	経済学部 講師 上野 美咲	41
132	12/15	音を楽しむ、音でつながる －学校で「音楽する」ことの可能性－	教育学部 准教授 上野 智子	40
133	1/19	マスターズスポーツ・プロモーションの期待と可能性	教育学部 准教授 彦次 佳	21
134	3/16	Kミュージックから韓国社会を読み解く －歌謡が映し出す近現代史と韓国の今－	桃山学院大学 准教授 新保 朝子 氏	36

(3) 地域研究事業

① 主権者教育プログラム

昨年度新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い延期していた岸和田高校家庭ゼミの「探究学習に伴う学習支援・交流会」をオンラインで開催した。探究学習の4テーマに対して、学習支援者の立場から、公務員、大学教員、企業人、大学生という幅広い人材により、様々な観点からのアドバイスや高校生との意見交換を行った。なお、2022年からは、「総合的な学習の時間」が、「総合的な探究の時間」に名称変更され、これまでの主要教科でも「古典探究」「日本史探究」「世界史探究」「地理探究」「理数探究基礎」「理数探究」が導入される予定であることから、こうした「探究学習」について、高校との連携を検討していきたい。



● 3. 今後の課題

コロナ禍により、「わだいな浪切サロン」はオンライン開催を行ってきたが、第134回から南海浪切ホールでの対面開催を再開した。オンライン配信をあわせたハイブリッド開催とし、コロナ禍で会場に大人数が集まる状況に不安があることに加えてより多くの参加者を募ることができることを期待し準備を進めてきた。両方のセミナー形態の準備が必要なことや通信環境が悪いと参加者が見る映像にタイムラグが発生してしまうこと、会場の参加者には場の雰囲気や伝わるようなニュアンスがオンラインの参加者には伝わりにくいこと等の懸念もあった。開催後、参加者に対するアンケートでは、ハイブリッドでの開催を望む声も多かったことから、今後ともハイブリッド開催による参加者の満足度を測定しつつも、社会情勢やテーマに沿った事業形態によって「対面」「オンライン」「ハイブリッド」を柔軟に選択することで、参加者にとって受講しやすい環境整備に繋げていかなければならない。

また、和歌山大学・岸和田市との地域連携の方向性を定めた地域連携戦略ビジョンが2023年に期間満了を迎えることに伴い、新たなビジョン策定に取り組む必要がある。新しい戦略ビジョンでは、岸和田市・岸和田市民・岸和田市内のステークホルダーからの意見や提案等を収集反映するとともに、当サテライトが南大阪地域における地域連携拠点の性格も併せもつことを考慮し、組織体制やコーディネート機能、広報活動等の充実についても熟慮していかなければならない。

さらに、岸和田市では、「市民サービスの向上」「地域課題の解決」「地域の活性化」を図ること等を目的として、2021年10月15日に「岸和田市公民戦略連携デスク」を設置し、企業等が保有するノウハウ、アイデア、技術等を活用した「新たなパートナーシップ」を目指すとしている。これまで岸和田市と和歌山大学との2者間での連携協力関係を主としていた連携内容については、テーマによって企業や団体等の第三者を加えて連携を目指す「和歌山大学との新たなパートナーシップ関係」の仕組みについても検討する必要があると考えている。

事業に関するお問い合わせ

岸和田サテライト

E-mail : kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp
URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/kishiwada/>

